

適用規格 $\triangle$		TÜV認定品 (R50270424), UL認定品 (E52653)				
定 格	使用温度範囲 <sup>(2)</sup>	-40℃ ~ +105℃	保存温度範囲	-10℃ ~ +60℃		
	電 圧 $\triangle$	AC, DC 600 V (UL, TÜV) AC, DC 1000 V	—	—		
	電 流 <sup>(1)</sup> $\triangle$	10A (UL, TÜV) 20A (GNDを除く4芯を 使用した場合)	適合ケーブル	φ11±0.3		
<b>性 能</b>						
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT	
構 造	外観, 構造及び仕上げ	目視, 寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○	
	表示	目視にて確認する。		○	○	
電 氣 的 性 能	接触抵抗	単位コネクタに DC 1A で測定する。	2 mΩ 以下	○	○	
	絶縁抵抗	DC 500 Vで測定する。	5000 MΩ以上	○	○	
	耐電圧	AC 2200Vの電圧を1分間印加する。	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	○	
	インパルス耐電圧	嵌合状態にて端子番号1, 2-3間に15kVの標準波形(電圧波形1.2/50μs, 極性 正・負 印加回数各3回)を印加する。	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	—	
機 械 的 性 能	コネクタの挿抜力 $\triangle$	φ3.58±0.003 の鋼製ピンで測定する。	挿抜力 0.3 N以上	○	—	
	コネクタの挿抜力	適合コネクタで測定する。(ロック機構を除く)	挿抜力 100N以下	○	—	
	端子固定力	圧着結線した適合コンタクトを組込後、電線に引っ張り加重を加える。	50N以下で端子の移動が無いこと。	○	—	
	繰り返し動作	200 回の抜き差しを行う。	単位コネクタの接触抵抗: 4mΩ 以下	○	—	
	耐振性	周波数 10~500~10Hz/サイクル, 片振幅0.75mm, 加速度98m/s <sup>2</sup> , 11分/サイクルで3軸方向各3時間試験する。	①10μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—	
	耐衝撃性	加速度490m/s <sup>2</sup> , 持続時間11ms, 正弦半波3方向各3回試験する。	①10 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—	
環 境 的 性 能	温度サイクル	温度 -55℃ → 常温 → +125℃ → 常温 時間30 → 2~3 → 30 → 2~3 分 を5サイクル試験する。	①絶縁抵抗: 5000MΩ以上 ②破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—	
	定常状態の耐湿性	温度40℃, 湿度90~95%中に96時間 放置する。	①絶縁抵抗: 50MΩ以上(高湿時) ②絶縁抵抗: 500MΩ以上(乾燥時) ③破損, ひび, 部品のゆるみがないこと	○	—	
	塩水噴霧	適合コネクタをかん合した状態で 濃度 5%の塩水, 1000 時間放置する。	機能を損なうようなはなはだしい腐食がないこと。	○	—	
	耐水圧性	適合コネクタをかん合した状態で 水深2mに 14日間放置する。	コネクタ内部への浸水がないこと。	○	—	
	耐気圧性	適合コネクタをかん合した状態で、コネクタ内部に17- 17.6kPaを30秒間加える。	コネクタ内部より気泡の発生がないこと。	○	—	
	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日	
	5 4	DIS-C-00003790	HT. ZENBA	HY. KOBAYASHI	20200130	
備 考	$\triangle$ 注(1) 上記規格値は適合コンタクトを組み込んだ状態での値を示す。 適合端子: HR41-SC-151 (2) 通電による温度上昇を含む。 試験規格の記載のない試験方法はIEC 60512(対応規格 JIS C 5402)を適用している。			承認	SU. OBARA	20120321
				検図	HY. KOBAYASHI	20120319
				担当	TY. SUZUKI	20120319
				製図	TY. SUZUKI	20120319
注	QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目	図番	SLC4-117698-00			
<b>HRS</b>	製品規格表		製品名	HR41-25WBP-5SC		
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL141-0009-9-00	$\triangle$ 1/1	